

EDX シリーズ

ユーザーズガイド

もくじ

EDX-P02

1	はじめて使うとき	2
	Windows XP/2000/Me で使うとき	2
	Windows 98(SE 含む)で使うとき	3
	Mac OS で使うとき	8
2	使い方	9
	Windows XP/2000/Me で使うとき	9
	Windows 2000/Me/98(SE 含む)で使うとき	11
	Mac OS で使うとき	13
	フォーマットするとき(Windows のみ)	14
3	取り外すとき	16
	Windows XP で使うとき	16
	Windows 2000/Me で使うとき	17
	Windows 98(SE 含む)	18
	Mac OS で使うとき	19
4	パスワードロック機能を使用するには ..	20
5	困ったときには	25

1 はじめて使うとき

本製品はパソコンのUSBポートに挿すだけで記録メディアとして使用することができます。以下のようなデータ移動を簡単に行うことができます。

- ・デスクトップパソコン ↔ ノートパソコン
- ・Windows マシン ↔ Macintosh シリーズ
- ・会社 ↔ 自宅

本製品をはじめて使うときは、以下の操作を行います。これは最初の1回だけで、次回からは必要ありません。

使用している OS の説明をお読みください。

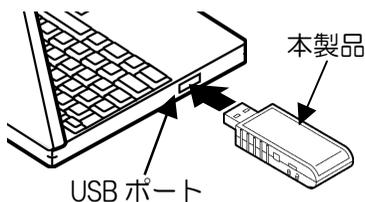
- Windows XP/2000/Me の場合 -----> 本ページ
- Windows 98(SE 含む)の場合 -----> 次ページ
- Mac OS の場合 -----> 8 ページ

Windows XP/2000/Me で使うとき

1 Windows XP/2000/Me を起動します。

2 本製品のキャップをはずして、パソコンの USB ポートに挿し込みます。
自動的に本製品が認識され、ドライバがインストールされます。

3 以降は挿し込むだけで使用できます。
取り外すときは【**取り外すとき**】(16 ページ)を読んで正しい手順で取り外してください。



はじめて使うとき

Windows 98(SE 含む)で使うとき



本製品を Windows 98(SE を含む)以外でお使いになる場合、サポートソフトをインストールする必要はありません。

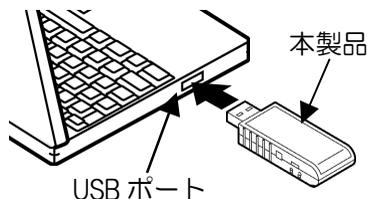
Windows 98 (SE を含む) で本製品を使用する場合は、最初に1度だけサポートソフトをインストールする必要があります。

(次回からは、本製品をパソコンに接続するだけで使用できます。)

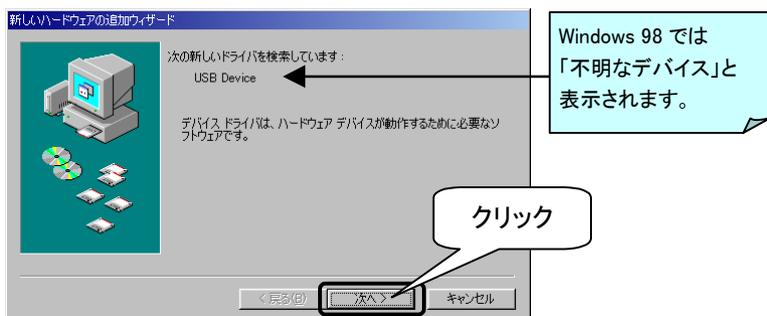
以下の手順にしたがってインストールしてください。

1 Windows 98(SE を含む)を起動します。

2 本製品をパソコンの USB ポートに挿し込みます。



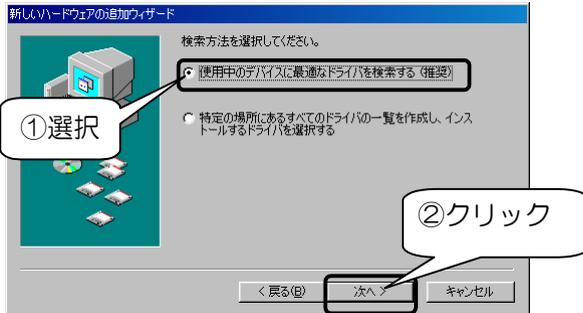
3 [次へ]ボタンをクリックします。



※上記の画面「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されないときは
→【困ったときには】の
「USB ポートに接続しても認識しない」(26 ページ)を参照してください。

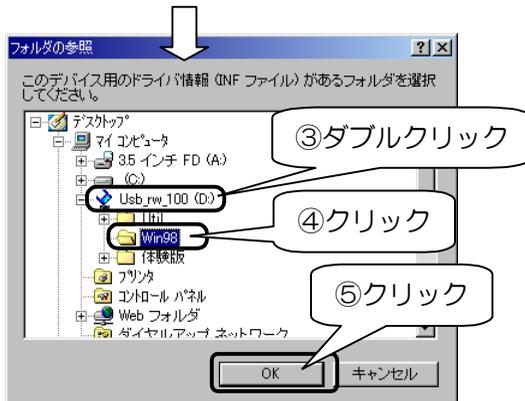
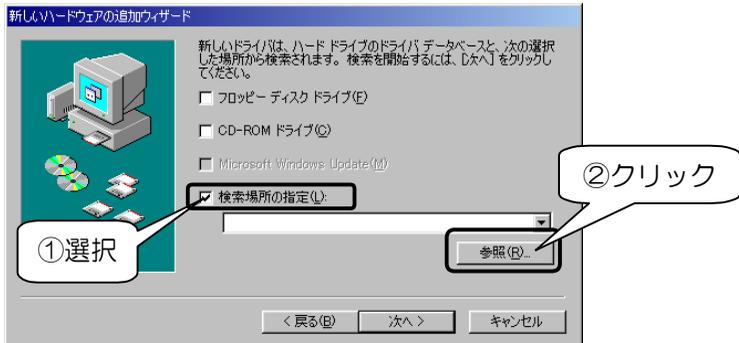
はじめて使うとき

- 4** 「使用中の……」を選択後、[次へ]ボタンをクリックします。



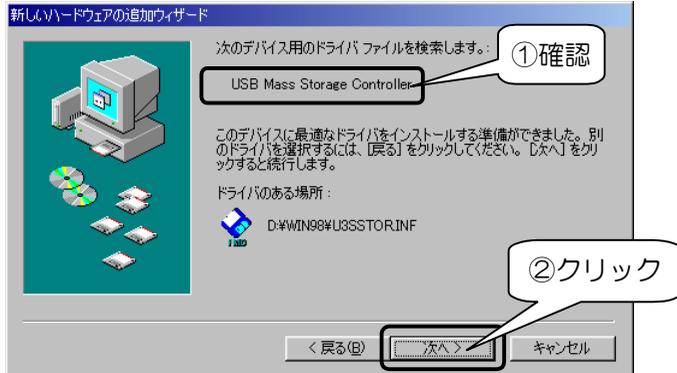
- 5** 「EasyDisk X サポートソフト」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

- 6** 「検索場所の指定」のみを選択後、[参照]ボタンをクリックし、CD-ROM の [Win98] フォルダを指定します。



はじめて使うとき

- 7 [次へ]ボタンをクリックします。
- 8 「USB Mass Strage Controller」と表示されていることを確認後、
[次へ]ボタンをクリックします。



- 9 [完了]ボタンをクリックします。



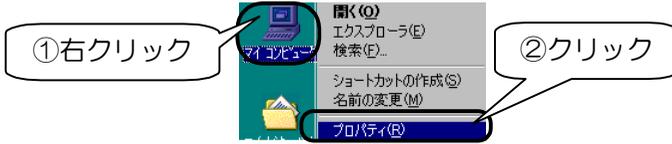
- 10 「EasyDisk X サポートソフト」CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

以上でインストールは終了です。正常にインストールできたか確認するため次ページ【インストール後の確認】にお進みください。

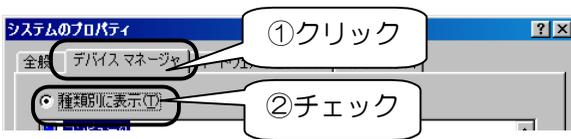
はじめて使うとき

■インストール後の確認

- 1 [マイコンピュータ]を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

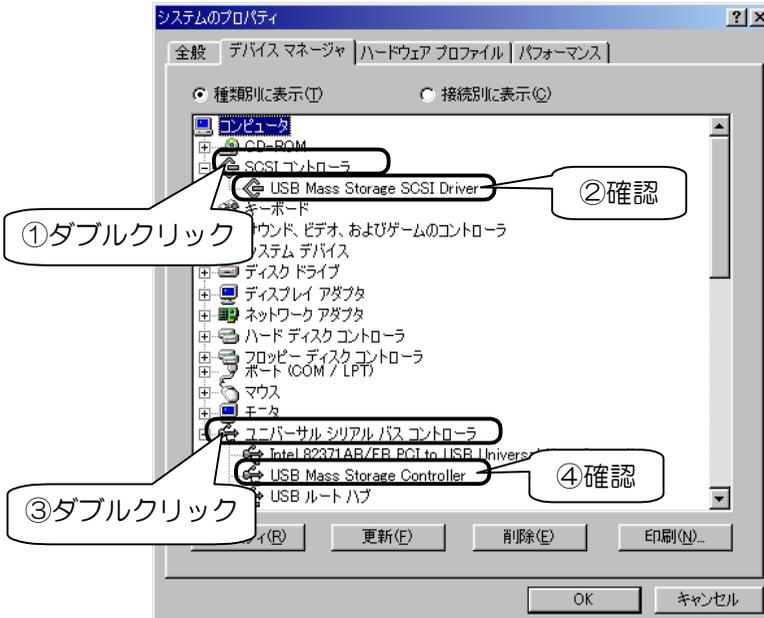


- 2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をチェックします。



- 3 Windows 98 の場合は以下を、Windows 98 SE の場合は[次ページ](#)を参照してください。
[SCSI コントローラ]をダブルクリックして、
[USB Mass Storage SCSI Driver]の表示があることを確認します。
[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]をダブルクリックして、
[USB Mass Storage Controller]の表示があることを確認します。

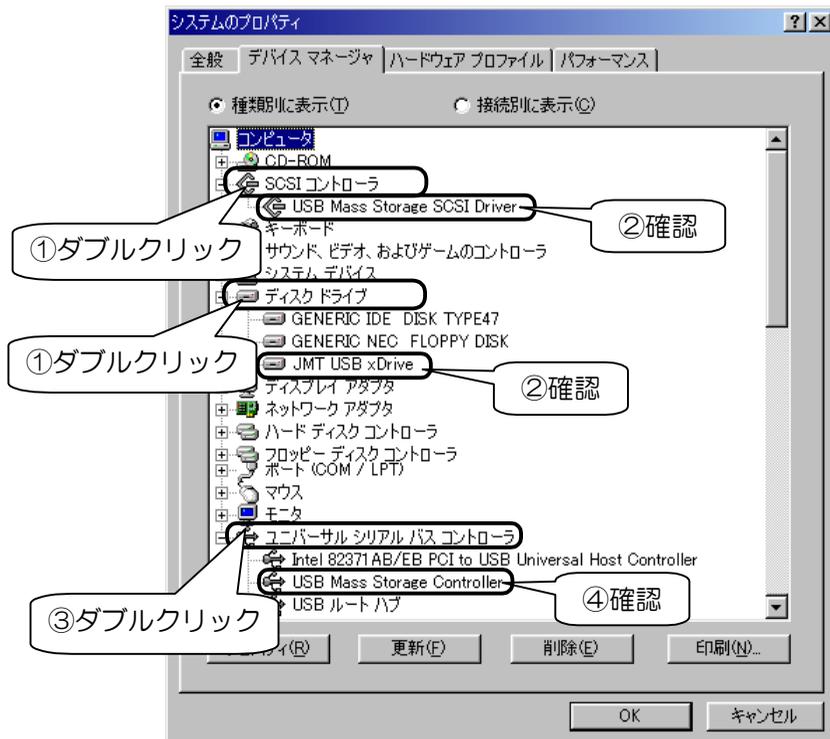
▼Windows 98 の場合の例



はじめて使うとき

[SCSI コントローラ]をダブルクリックして、
[USB Mass Storage SCSI Driver]の表示があることを確認します。
[ディスクドライブ]をダブルクリックして、
「JMT USB xDrive」が表示されていることを確認します。
[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]をダブルクリックして、
[USB Mass Storage Controller]の表示があることを確認します。

▼Windows 98 SE の場合の例

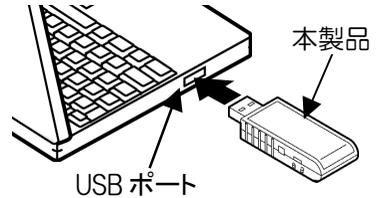


以上で確認は終了です。以降は【使い方】(9 ページ)をお読みください。

はじめて使うとき

Mac OS で使うとき

- 1 Mac OS を起動します。
- 2 本製品のキャップをはずして、パソコンの USB ポートに挿し込みます。
自動的に本製品が認識されます。
- 3 以降は挿し込むだけで使用できます。
取り外すときは【[取り外すとき](#)】(16 ページ)を読んで正しい手順で取り外してください。



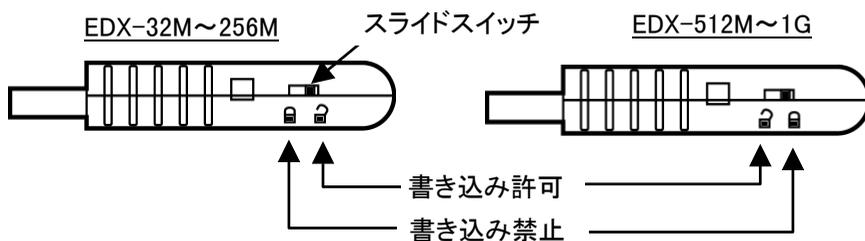
2 使い方

本製品をパソコンの USB ポートに挿し込むだけでデータの読み書きを行うことができます。本製品は DOS FAT ファイルシステムにてフォーマット(初期化)済みですので、そのままお使いいただけます。

■書き込み禁止にする方法

以下の図のスライドスイッチを「書き込み禁止」側にするると、データを書き込むことはできません。

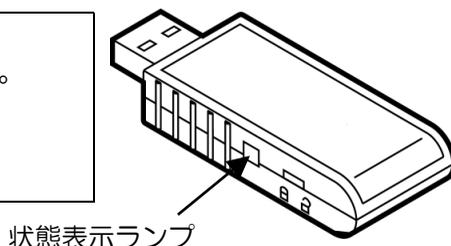
※スライドスイッチの切り替えは本製品を USB ポートから抜いた状態で行ってください。



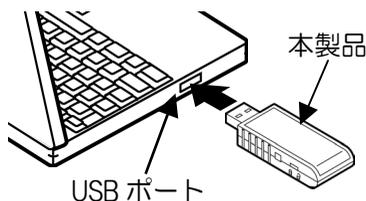
Windows XP で使うとき

本製品をパソコンに挿し込んだときの状態表示ランプ

- 読み書き動作中 (赤く点滅)
→本製品を取り出さないでください。
 - 待機中(緑色点灯)
→本製品を取り出せます。
- 【取り外すとき】(16 ページ)参照

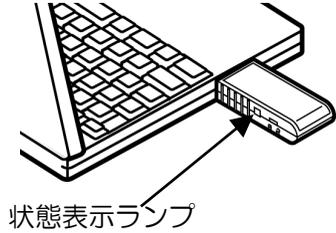


- 1 本製品のキャップを外し、パソコンの USB ポートに挿し込みます。



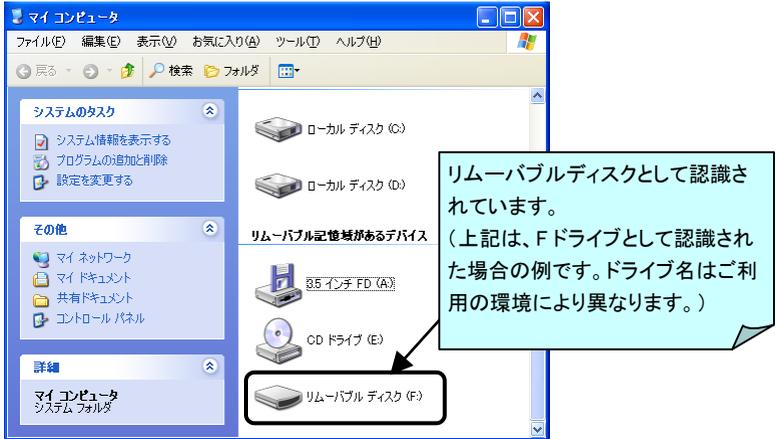
使い方

- 2 状態表示ランプが緑色に点灯します。



- 3 Windows ではリムーバブルディスクとして認識されます。以降はハードディスクと同様にデータの読み書きができます。

- ① [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックします。
- ② リムーバブルディスクが追加されたことを確認します。



- 4 取り外すときは状態表示ランプが緑色点灯していることを確認してから、【取り外すとき】(16 ページ)を参照して取り外してください。



「状態表示ランプ」が赤色のときは、本製品を取り外さないでください。データの消失や故障の原因になります。

使い方

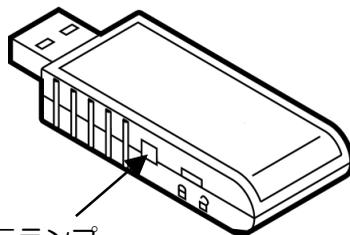
Windows 2000/Me/98(SE 含む)で使うとき

本製品をパソコンに挿し込んだときの状態表示ランプ

●読み書き動作中（赤く点滅）
→本製品を取り出さないでください。

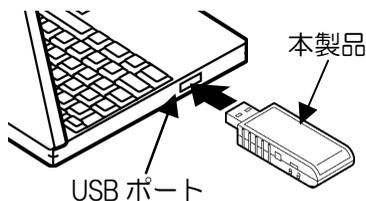
●待機中（緑色点灯）
→本製品を取り出せます。

【取り外すとき】(17,18 ページ)参照

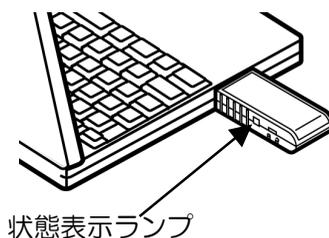


状態表示ランプ

- 1 本製品のキャップを外し、パソコンの USB ポートに挿し込みます。



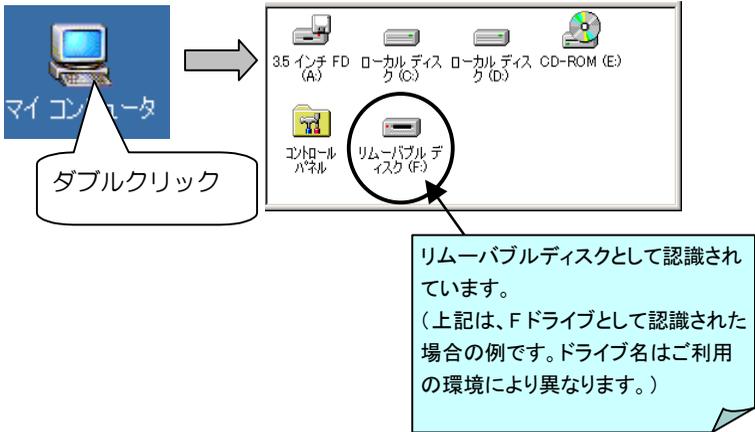
- 2 状態表示ランプが緑色に点灯します。



使い方

- 3** Windows ではリムーバブルディスクとして認識されます。
以降はハードディスクと同様にデータの読み書きができます。

- ①マイコンピュータをダブルクリックします。
- ②リムーバブルディスクが追加されたことを確認します。



- 4** 取り外すときは状態表示ランプが緑色点灯していることを確認してから、【取り外すとき】(17,18 ページ)を参照して取り外してください。



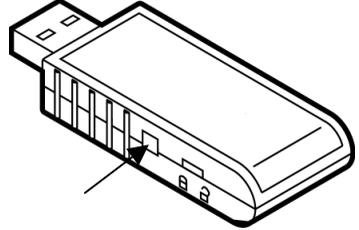
「状態表示ランプ」が赤色のときは、本製品を取り外さないでください。データの消失や故障の原因になります。

使い方

Mac OS で使うとき

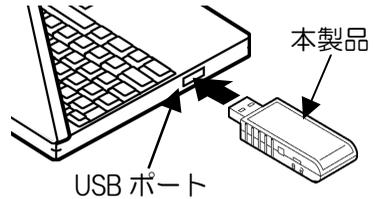
■本製品をパソコンに挿し込んだときの状態表示ランプ

- 読み書き動作中（赤く点滅）
→本製品を取り出さないでください。
 - 待機中（緑色点灯）
→本製品を取り出せます。
- 【取り外すとき】(19 ページ)参照

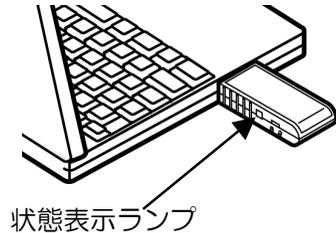


状態表示ランプ

- 1 本製品のキャップを外し、パソコンの USB ポートに挿し込みます。



- 2 状態表示ランプが緑色に点灯します。



- 3 Mac OS で使用する場合「名称未設定」または「NO_NAME」ディスクとして認識されます。
以降はハードディスクと同様にデータの読み書きができます。

使い方

- 4** 取り外すときは状態表示ランプが緑色点灯していることを確認してから、【取り外すとき】(19 ページ)を参照して取り外してください。



「状態表示ランプ」が赤色のときは、本製品を取り外さないでください。データの消失や故障の原因になります。

フォーマットするとき(Windows のみ)

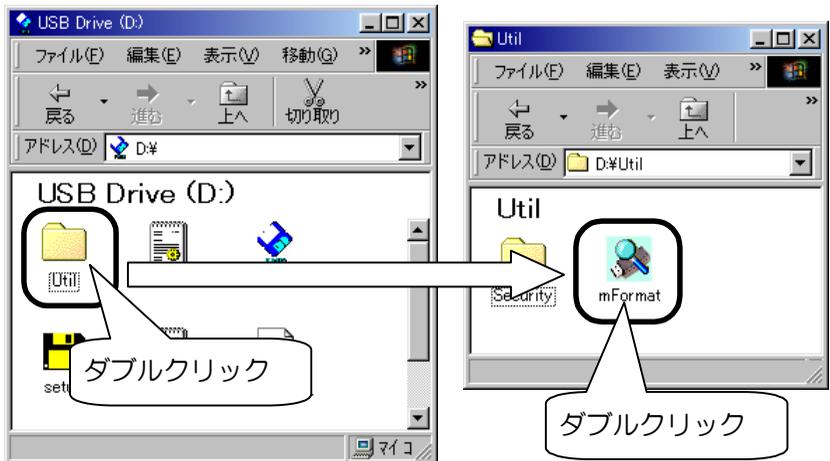


複数の本製品をお使いの場合は、お使いの製品毎に USB ポートに接続して、本ソフトウェアを実行してください。

※本ソフトウェアは Windows 専用です。Macintosh では使用できません。

フォーマット（初期化）を行うとすべてのデータは消去されます。
必要なデータは保存してから以下の手順でフォーマットしてください。
パスワードを解除する場合も以下の手順で行います。

- 1** 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。
- 2** CD-ROM 内の [Util] フォルダ → mFormat アイコンをダブルクリックします。

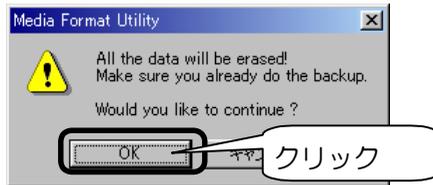


使い方

- 3** ①「Type of Format」で[Quick]、[Full]のいずれかをチェック
②[Start]ボタンをクリックします。



- 4** [OK]ボタンをクリックします。



本製品内のデータはすべてなくなります。必要なデータはバックアップしてください。

3 取り外すとき

電源が入っている状態で取り外すときは、以下の手順で行ってください。
パソコンの電源を切ってから取り外すときは、以下の手順は不要です。

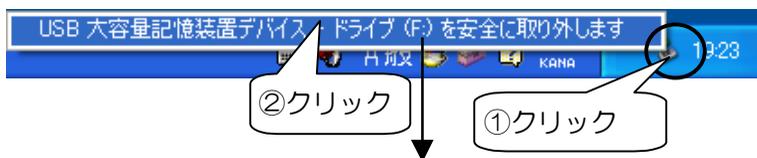
Windows XP で使うとき



取り外すときは「状態表示ランプ」が緑色点灯をしていることを確認してから取り外してください。

1

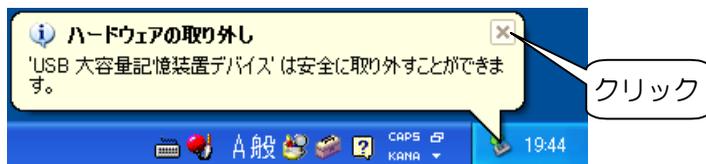
取り外すときは、以下の  アイコンをクリックし、「USB 大容量記憶装置デバイス……」をクリックします。



Fドライブに割り当てられた例です。

2

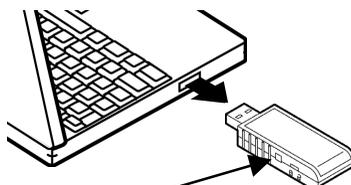
以下のメッセージが表示されたら右上のXをクリックします。



3

取り外します。

状態表示ランプが緑色点灯していることを確認してから取り外してください。



状態表示ランプ

取り外すとき

Windows 2000/Me で使うとき



取り外すときは「状態表示ランプ」が緑色点灯をしていることを確認してから取り外してください。

1

取り外すときは、以下のアイコンをクリックし、「USB 大容量……」または、「USB ディスク……」をクリックします。



Windows Me の場合、表示は異なります。

2

[OK]ボタンをクリックします。

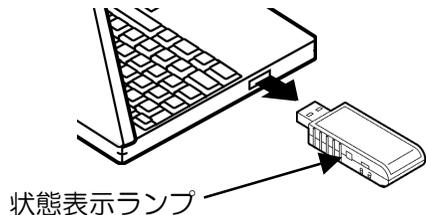


Windows Me の場合表示は異なります。

3

取り外します。

状態表示ランプが緑色点灯していることを確認してから取り外してください。



取り外すとき

Windows 98(SE 含む)で使うとき



取り外すときは「状態表示ランプ」が緑色点灯をしていることを確認してから取り外してください。

取り外すときは、上記に注意して取り外してください。
パソコンの電源が入っているままでも取り外すことができます。

取り外すとき

Mac OS で使うとき

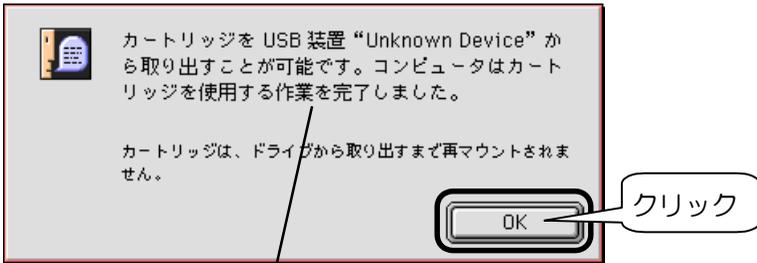


取り外すときは「状態表示ランプ」が緑色点灯をしていることを確認してから取り外してください。

1 取り外すときは、本製品のアイコンをゴミ箱に捨てます。

2 以下のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

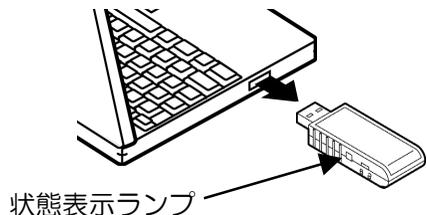
Mac OS X 10.1 をお使いの場合は、以下の画面は表示されません。



表示されるメッセージは異なる場合がありますが、内容は同じです。

3 取り外します。

状態表示ランプが緑色点灯していることを確認してから取り外してください。



4 パスワードロック機能を使用するには

本製品添付の CD-ROM 内にあるセキュリティ用ソフトウェアを使用すると、本製品に書き込んだデータを保護することができます。書き込み、読み出しがパスワードで保護されるため、自分だけのデータの管理ができます。



- ①本ソフトウェアは Windows 専用です。Macintosh では使用できません。
- ②Windows XP ではコンピュータ管理者のアカウント、Windows 2000 では Administrator の権限でログオンしてください。
- ③複数の本製品をお使いの場合は、お使いの製品毎に USB ポートに接続して、本ソフトウェアを実行してください。

■パスワードロック機能の設定(フォーマット)手順

パスワードロック機能の設定を行うとき、本製品をフォーマット（初期化）します。データはすべて消去されますので、必要なデータは保存してください。

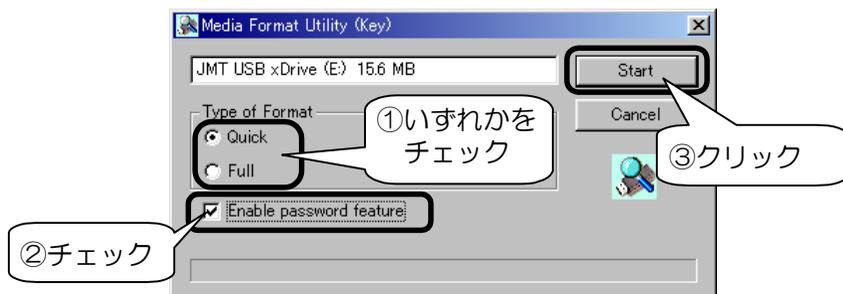
1 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

2 CD-ROM 内の [Util] フォルダ → mFormat アイコンをダブルクリックします。

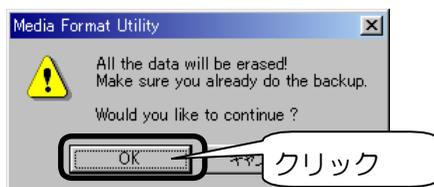


パスワードロック機能を使用するには

- 3**
- ①「Type of Format」で[Quick]、[Full]のいずれかをチェック
 - ②「Enable password feature」にチェック
 - ③[Start]ボタンをクリックします。

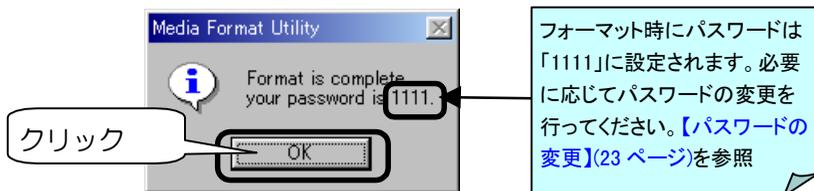


- 4** [OK]ボタンをクリックします。



注意 本製品内のデータはすべてなくなります。必要なデータはバックアップしてください。

- 5** フォーマットが終了しました。パスワードを確認して、[OK]ボタンをクリックします。
表示されているパスワードを忘れないようにご注意ください。



以上で本製品にパスワードが設定されました。今後は本製品を USB ポートに差し込んだときは、パスワードの入力が必要となります。

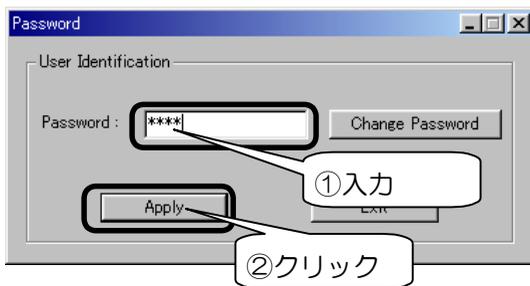
パスワードロック機能を使用するには

■パスワードの入力

- 1 本製品に書き込み、読み出しをしようとするとき、以下の画面が表示されます。[passid]アイコンをダブルクリックします。



- 2 パスワードを入力し、[Apply]ボタンをクリックします。



これで本製品に書き込み、読み出しができます。



- ①パスワードを忘れた場合は、再度フォーマットを行う必要があります。本製品のデータはすべて消去されますのでパスワードは忘れないようにしてください。
※フォーマット方法は【フォーマットするとき】(14 ページ)を参照
- ②パスワードに使用できる文字は、英数字および『+ , - , * , / , ! , . , @ , # , \$, % , & , ^ , (,) , _ 』です。また、大文字、小文字の区別をしています。

パスワードロック機能を使用するには

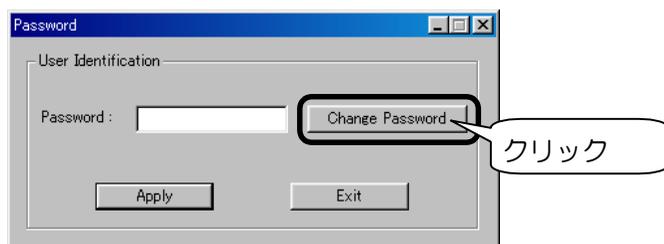
■パスワードの変更

パスワードを解除する場合は、【フォーマットするとき (Windows のみ)】(14 ページ) を参照してください。

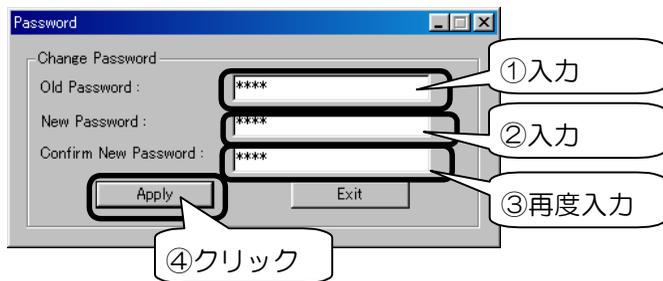
- 1 本製品をパソコンに挿入し、本製品(リムーバブルディスク)のアイコンをダブルクリック→[passid]アイコンをダブルクリックします。



- 2 以下の画面が表示されましたら、[Change Password]ボタンをクリックします。



- 3
 - ①[Old Password]に現在のパスワードを入力
 - ②[New Password]に変更するパスワードを入力
 - ③[Confirm New Password]に再度変更するパスワードを入力
 - ④[Apply]ボタンをクリックします。



パスワードロック機能を使用するには

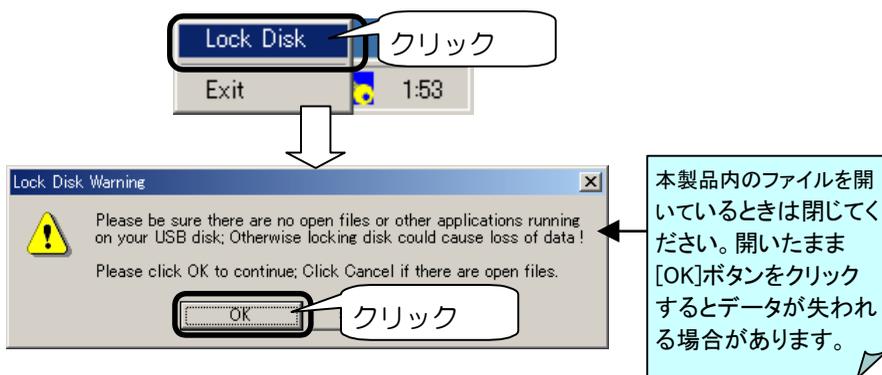
■パスワードロック機能使用時に取り外すとき

パスワードロック機能を使用しているとき、本製品を取り外す場合は以下の手順で行ってください。

- 1** タスクバーのアイコン を右クリックします。



- 2** [Lock Disk]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



- 3** タスクバーのアイコン を右クリックします。



- 4** [Exit]をクリックします。



以降は、【取り外すとき】(16 ページ) を参照して、本製品を取り外してください。

5 困ったときには

■ 「困ったときには」もくじ

状態	参照頁
USB ポートに接続しても認識しない。	26
ディスクを読み書きしているとき、他の USB 機器が認識しない。	27
ディスクを取り外せる状態にならない。 (Windows XP/2000/Me/ Macintosh)	
「スタンバイ」や「スリープ」および「休止状態」から復帰後、本製品が認識されない。	
「スタンバイ」や「スリープ」および「休止状態」にならない場合がある。または、復帰時にパソコンが動作しない場合がある。	28
Windows Me 上で本製品を使用した場合、「システムのプロパティ」のデバイスマネージャで表示される「USB 大容量記憶装置デバイス」に、緑色の疑問符“?”が表示される。 (Windows Me)	
インストールの途中で「USBNTMAP.SYS が見つかりません。」と表示され、ドライバのインストール元の場所を入力する画面になり、自動的にインストールされない。(Windows Me)	29
Macintosh に装着すると「USB 装置(デバイス)“unknown Device”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか？」と表示され、認識しない	
Macintosh に装着しても認識されない	
アンインストール方法	30

困ったときには

USB ポートに接続しても認識しない。

原因 他の USB 機器にバスを占有されています。

対処 この場合、すぐには認識されません。他の USB 機器の占有が終わってから、本製品を USB ポートに接続してください。

原因 接続する USB ポートによっては認識しない場合があります

対処 1 接続する USB ポートを変更してください。

対処 2 USB ハブに接続している場合は、USB ハブを接続せずに、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

原因 誤認識されています。

対処 1 デバイスマネージャ上の「その他のデバイス」に本製品が追加された場合は、右クリックして削除し、本製品を抜いて、挿し直してください。
【はじめて使うとき】(2 ページ)を参照して、再度インストールをお試しくください。(Windows 98(SE 含む)の場合)

対処 2 対処1を行っても変わらない場合は、本製品を接続しない状態で、パソコン本体を再起動してください。
このとき、SAFEモードで起動できるかお試しください。

<Safeモードでの起動方法>

- ①パソコンの電源を入れて、Windows 98(SE含む)の起動時のロゴ画面(青空の画面)が表示される前」の時点で、「Ctrl」キーを押してください。
- ②Windowsのスタートアップメニューが表示されます。
- ③このメニューの「3. Safe Mode」を選択してください。
- ④キーボードの種類を聞いてきますので、106日本語キーボード(半角/全角(漢字)キー)を押して起動を続行してください。
- ⑤さらに「Windows は Safe モードで実行されています」と表示され、Safe モードがWindows の正常な起動を妨げる問題を解消するための、特殊な診断モードであるという説明が表示されますので、Enter キーを押して起動を続行します。
- ⑥Safeモードで起動すると、デスクトップ画面の四隅に「Safeモード」と表示されます。

困ったときには

- 対処 2**
(つづき) SAFEモードで起動できましたら、[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]の「その他のデバイス」をダブルクリックします。何か追加されているときは、削除してください。
- さらに、【[アンインストールの方法](#)】(30ページ)を参照して、アンインストールします。
- これで初期の状態に戻るので、これで再度本製品を装着して最初からインストールしてください。

ディスクを読み書きしているとき、他の USB 機器が認識しない。

- 原因** 本製品がバスを占有しています。
- 対処** この場合、すぐには認識されません。本製品のバス占有が終わってから、他の USB 機器を USB ポートに接続してください。
- 原因** USB ポートによっては認識しない場合があります。
- 対処 1** 接続するポートを変更してください。
- 対処 2** USB ハブに接続している場合は、直接パソコン本体の USB ポートに接続してください。

ディスクを取り外せる状態にならない。 (Windows XP/2000/Me/ Macintosh)

- 原因** 使用中のアプリケーションが取り外せる状態を禁止している場合があります。
- 対処** 使用中のアプリケーションを終了してから、【[取り外すとき](#)】(16ページ)の手順にしたがって取り外してください。

「スタンバイ」や「スリープ」および「休止状態」から復帰後、本製品が認識されない。

- 対処** いったん、本製品を USB ポートから抜き、再度挿すことで認識される場合があります。

「スタンバイ」や「スリープ」および「休止状態」にならない場合がある。または、復帰時にパソコンが動作しない場合がある。

- 対処** 「スタンバイ」や「スリープ」および「休止状態」を実行する前に本製品を取り外してください。

困ったときには

Windows Me 上で本製品を使用した場合、「システムのプロパティ」のデバイスマネージャで表示される「USB 大容量記憶装置デバイス」に、緑色の疑問符“?”が表示される。(Windows Me)

対処

本製品は、Windows Me 標準添付の互換性のあるドライバを使用しています。
緑色の疑問符“?”が表示されるのは、デバイス互換性のあるドライバを使用しているという意味を表すもので、動作上問題はありません。

インストールの途中で「USBNTMAP.SYS が見つかりません。」と表示され、ドライバのインストール元の場所を入力する画面になり、自動的にインストールされない。(Windows Me)

対処

「USBNTMAP.SYS が見つかりません」の画面では、ファイルの検索場所を指定してください。指定方法は、下記の方法で、Windows Meのシステムファイルがあるフォルダを指定してください。

<方法1>

Windows Meの以下のフォルダを指定してください。
(起動ドライブがCの場合)
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL

<方法2>

Windows Meの以下のフォルダを指定してください。
(起動ドライブがCの場合)
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

<方法3>

Windows MeのCD-ROMの中にある「WIN9X」フォルダを指定してください。
(CD-ROMドライブがDの場合)
D:¥WIN9X

困ったときには

Macintosh に装着すると「USB 装置(デバイス)」「名称未設定装置」に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか?」と表示され、認識しない。

原因

Mac OS の「機能拡張マネージャ」に「ISD 200 BOT Bridge」がインストールされて有効になっていると、このエラーメッセージが表示され、本製品が認識されません。USB ポートによっては認識しない場合があります。

対処

「Appleメニュー」→「コントロールパネル」→「機能拡張マネージャ」→「機能拡張」の内容を確認していただき、「ISD 200 BOT Bridge」が有効（X印が付いている）になっている場合は、無効（X印無し）にしてください。

「ISD 200」ではなく「ISD 300」の場合も、同様に機能拡張を無効にしてください。

ただし、無効にすることによって、これらの機能拡張を使用する機器は使用できない状態になります。

（USB 接続の MO ドライブ、CD-R ドライブ、ハードディスクドライブがこの機能拡張を使用している場合があります。）

使用する機器メーカーに「ISD 200」や「ISD 300」のドライバがバージョンアップしていないかご確認ください。

Macintosh に装着しても認識されない。

対処 1

ご使用の OS が対応 OS かどうかご確認ください。

対処 2

複数のUSBポートを備えたパソコンであれば、他のUSBポートを挿してお試しください。

キーボードのUSBポートに接続されている場合はパソコン本体のUSBポートに挿してお試しください。

USBハブに接続している場合は、パソコン本体のUSBポートに挿してお試しください。

対処 3

本製品は、DOSのFAT形式でフォーマットされていますので、機能拡張の「FileExchange」を有効にしてください。（Mac OS 9.0～9.2の場合）
[アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]で、「FileExchange」が有効（X印）になっていることをご確認ください。

困ったときには

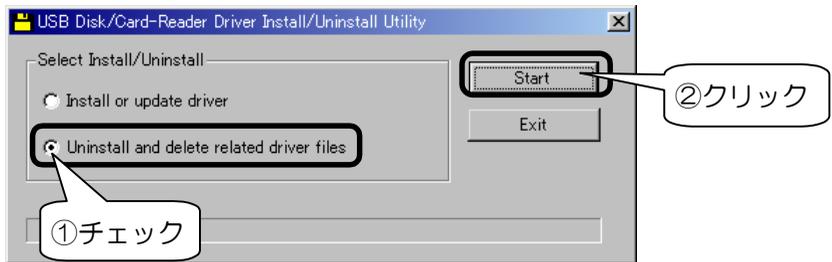
アンインストール方法

以下の手順は Windows のみです。Mac OS では行う必要はありません。

- 1 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 CD-ROM 内の[Win98]フォルダの Setup アイコン  をダブルクリックします。
- 3 [OK]ボタンをクリックします。



- 4 [Uninstall and delete related files]をチェックし、[Start]ボタンをクリックします。



- 5 [EXIT]ボタンをクリックします。

